

第13回東日本大震災ボランティア

宇都宮大学、災害ボランティア活動は「山元町いちごハウスの解体作業」

宇都宮大学では、7月1日（日）に災害ボランティアとして、宮城県亶理郡山元町にて、いちご栽培が終わった後のビニールハウス解体作業ボランティアを行いました。

学生たちは全員で、大きなハウスのパイプやいちご栽培用の器具などの撤去作業を行いました。

作業終了後には被災地の見学を行い、震災後そのまま手つかずとなっている小学校の体育館や教室の様子などを目の当たりにし、まだまだ今後もボランティアが必要であること再確認し、自分たちも被災地支援を継続していくことを心に誓いながら、全員無事に帰ってきました。

